

千葉演習林 ボランティア会

Abies 通信

(No.29)

2010.6.30

もくじ

1. 3月度 ボランティア活動・報告
＜さく葉標本整理作業内容の内容確認＞
2. 4月度(1) ボランティア活動・報告
＜千葉県森林インストラクター会との交流会＞
3. 4月度(2) ボランティア活動・報告
＜演習林・春の一般公開のサポート＞
4. 4月度(3) ボランティア活動・報告
＜演習林ガイド・猪ノ川林道＞
5. 5月度(1) ボランティア活動・報告
＜猪ノ川林道 自然観察会＞
6. 5月度(2) ボランティア活動・報告
＜春の研修会聴講とさく葉標本整理＞
7. 6月度 ボランティア活動・報告
＜利用者説明会、さく葉標本整理、自然観察＞

8. 7月度 ボランティア活動参加者募集
＜高校生のための森と海のゼミナールサポート＞

3月度 ボランティア活動・報告

～さく葉標本整理作業の内容確認～

森林博物資料館に保管してある草本などの“さく葉標本(押葉標本)”の整理・確認作業を本年度から行うことになっていますが、演習林窓口の才木さんが4月付で愛知演習林へ転勤されるので、作業内容の引継ぎと確認を石川(輝)が3月26日(金)におこないました。

内容は次の通りです。

1. 整理をする標本の保管箱の形状と数量

* 保管箱

- ・形状 ふた付木箱（内側ブリキ板貼り構造で寸法は幅30cm×奥行40cm×高さ15cmほど）がケースに20箱入っている。
- ・数量 120箱（標本数としては1万種近くあると思われる）

2. 整理・確認の方法と項目

* 方法

現物のラベルまたは折込新聞紙に書いてある項目を確認してリストと異なっている場合リストの項目を修正する。科名など現在と呼び名が異なっているものはそのままとして修正しない。



標本の保管状態

* 項目

- ・現物の有無とリストの整理番号の確認
- ・新聞紙に挟んだままか、台紙に張ってレベルがつけられているか区別する。（台紙に張ってレベルがつけられている標本は整理番号を で囲う）
- ・箱番号の記入 例 - 13 - 3 リストに記載する。
- ・科名 和名 産地 採集年月日 採集者名 花と実（リストにあるもののみ確認）が異なっていればリストを修正する。

4月度（1）ボランティア活動・報告

～千葉県森林インストラクター会との交流会～

4月10日（土）から11日（日）にかけて千葉県森林インストラクター会（FIC）とAbiesの交流研修会が千葉演習林清澄で行われ、中原、岩崎夫婦、石松夫婦、石川（輝）の6名が参加しました。

FICは社団法人全国森林レクリエーション協会が認定する「森林インストラクター」の資格を持ち千葉県に在住する会員の集まりで、主として千葉県で森林その他自然環境保全に関する活動を活発におこなっている団体です。

Abiesの会員のなかにもFICのメンバーが何名か居ますし、個人的にもFICの行事に参加することもあるので、Abiesとは



清澄寺の千年杉

一番近い団体です。

今回の交流会はF I C会員向けの研修（もりこん春の研修）のなかのプログラムとして行われました。互いの会の活動その他の紹介をした後、夜の懇親会で親交を深めました。

宿泊して次の日の早朝に清澄寺の周囲を歩く自然観察会が行われこれにも参加しました。清澄作業所の上の駐車場の近くの電線にうぐいすが止まってさえずっていました。

うぐいすの鳴き声は頻繁にきくことができますが、普段はやぶの中にいてめったに見ることができません。電線にとまって、姿を見たのは初めての体験でした。



電線でさえずるウグイス

4 月 度 (2) ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 ・ 報 告

～ 演 習 林 ・ 春 の 一 般 公 開 サ ポ ー ト ～

1 . 準 備 作 業 サ ポ ー ト 活 動

演習林・春の一般公開に先立ち、4月13日（火）に公開コースの整備を行ないました。参加者は米倉、石松（彰）さんと石川（輝）の3名です。職員の三次さんも一緒です。天気予報に反して暖かい晴れた一日となりました。

今回は柚ノ木歩道の最初の登り口とお弁当広場に下りる部分の階段整備を行いました。ここは丸太を使った階段になっています。腐っている部分の丸太を新規のものに交換して、流れた土をならして歩きやすい状態にしました。

特に柚ノ木歩道の最初の登り口は気になっていたところですので、今回の整備ですっきりとしました。

その後、柚ノ木歩道を地蔵峠まで登りながら、途中すべりやすい箇所をなおしましたが、こちらは思いのほか危険と思われる箇所はありませんでした。



お弁当広場の階段補修

2 . 春 の 一 般 公 開 サ ポ ー ト 活 動

今年の春の一般公開は4月14日（水）、15日（木）、16日（金）の平日3日間の



サツマイナモリ

開催です。Abiesとしては14日に4名、15日に6名、16日に7名のサポート参加を予定しました。しかし、天候の関係(大雨)で開催できたのは初日の14日のみとなり、15日と16日に参加を予定していた皆さんには大変残念なかたちとなりました。

4月14日(水)は雲が多めながら、まあまあの天候です。参加者は岩崎夫婦、平野さんと石川(輝)の4名で、平野さんは初参加です。

当日の来林者数は124名で、全員が午後1時前の入林でした。もともと秋の一般公開に比べ春の来林者は少ないのですが、今後、どのような形で開催するかについて考える時期と思われました。Abiesの会員はもちろん他にも毎年参加を楽しみにしている方がいますので、形は変わっても続けてほしいと思います。

また今回、演習林の景色や美しい花などの写真(35種)をA4サイズ一枚の用紙にまとめた“東京大学千葉演習林の春”と称する下敷きを演習林の承認をいただき300円/1枚で販売しました。好評で1日20枚売れました。

今年の秋の演習林秋の一般公開の時には同種の秋バージョンをつくり、春、秋セットで販売したいと考えています。



下敷き

4月度(3) ボランティア活動・報告

～演習林ガイド・猪ノ川林道～

4月29日(祝)に横浜の“尾瀬の自然を守る山ゆりの会”の皆さんの演習林ガイドをしました。参加者は男性4人、女性8人です。ガイド役は中原さんと石川(輝)です。

今回案内するのは上総亀山駅から折木沢・猪ノ川溪谷を郷台作業所まで往復するコースです。

当日は晴天で暖かい一日となりました。皆さんは久留里線で上総亀山駅へ来るので、石川(輝)



は木更津駅より同行して案内をはじめます。中原さんは折木沢橋手前の駐車場で私たちと合流してここから二人での案内となります。

一面若葉の緑に囲まれるなか、まずは黒滝をながめ、途中、樹木や草花の観察や川回し、素堀トンネル、洗濯板状の川床など演習林（千葉県）の地質、演習林の研究などを解説しながら郷台作業所に向かってゆっくりと歩きます。郷台作業所で少し遅い昼食をとり、その後周辺の苗畑や研究林を案内しました。

正式な場所の名前がないのが不思議なのですが、西側の開けた崖の上から眺める西ノ沢方面の山の斜面の景色はすばらしく、演習林の代表的な森であるモミ・ツガ天然林、常緑広葉樹林、落葉広葉樹林、スギ・ヒノキ人工林などを全部一望することが出来ます。



演習林の森林（西ノ沢）

一休みしてから、来た道をもどりました。皆さんはそのまま横浜へ帰るのではなく、今晚は七里川温泉に泊まるため、長崎十字路からバスにのって七里川温泉に行きたいとのことでしたが、中原さんが電話で七里川温泉のマイクロバスの送迎を頼み、折木沢橋手前の駐車場まで来てもらって、ここでお送りしてガイドは終わりとなりました。

次の日に石尊山 麻綿原 清澄寺を歩くと言うことを当日聞きましたが、事前に承知していればこちらも含めて案内できたのではないかとも思いました。

後日、お礼のメール、記念写真、今回の記事が記載されている会報をいただきました。千葉演習林を通じて南房総の自然のすばらしさをつたえることが出来たと思いました。

5 月度（1）ボランティア活動・報告

～猪ノ川林道 自然観察会～

5月14日（金）に猪ノ川林道の自然観察会をおこないました。朝方は曇りで雨模様でしたが、歩く頃には晴天となりました。参加者は中原、恵、土橋、石松（彰）、安元、米倉さんと石川（輝）の7名です。

職員の三次さんに加勢林道入口まで演習林の車で送ってもらい、ここから黒滝方面に歩き始めます。時間は十分ありますので、林道の両側の植物を観察しながら写真に記録をします。1ヶ月前の春の一般公開の時期より、木々の緑が一段と濃く、鮮やかになり、快適

です。

ヤブデマリの白い花やフジの紫の花が一面に咲いていて、他にもミツバツツジ、ヒメウツギ、ニシキウツギ、ハンショウヅル、ミヤマキケマンなどの花を見ることができました。この時期は不思議と白い花が多いと思いました。



比較的歩く機会の多い猪ノ川林道ですが、少し観察時期をずらしただけでも新しい発見があることがわかります。

今後とも猪ノ川林道を色々な時期に観察して、楽しい発見をしたいと思います。

帰りは郷台作業所まで三次さんに車で迎えに来てもらいましたが、時間があつたので、札郷作業所と菖蒲沢にまわってもらい、菖蒲の生育状況を確認してきました。

どちらも順調に生育していますので、予定通り7月に札郷の水槽に植えてある菖蒲苗を菖蒲沢に移すことが出来そうです。



フジの花



ヤブデマリ

5 月度 (2) ボランティア活動・報告

～ 春の研修会聴講とさく葉標本整理 ～

1. 春の研修会の聴講

5月31日(月)に午後から清澄の講義室でおこなわれ石川(輝)が聴講しました。春の研修会は演習林の先生がたの研究の学会報告や奨励研究の発表の場です。

恒例で山の神様への安全祈願と昼食会（カレーライス）があるので、これに間に合うようにでかけました。

発表内容は「ヒメコマツの材線虫病抵抗性に関する研究」などのように従来から研究されている発表が主でしたが、新しく「千葉演習林における J - V E R への取り組み」の発表が広嶋先生からありました。今後申請にあたって、種々の実作業があるとのこと、勉強させていただきたいと思います。



J - V E R とカーボンオフセットについての説明が環境用語辞典にありましたので参考に紹介します。

* J - V E R

オフセット・クレジット(J - V E R)は、カーボンオフセットに用いられるために発行されるクレジットです。国は、国内で行われる排出削減・吸収プロジェクトによる温室効果ガス排出削減・吸収量のうち一定の基準を満たすものを、オフセット・クレジットとして認証する制度の構築を進めています。

J - V E R の対象となる温室効果ガス排出削減・吸収プロジェクトは「ポジティブリスト」としてまとめられます。プロジェクト事業者は、実施しようとするプロジェクトの種類がリストに掲載されていて、プロジェクトとしての適格性の基準を満たせば申請することができます。具体的には、ボイラーで使う化石燃料を、利用されていない「林地残材」に転換するプロジェクトがあげられています。

また、次のプロジェクトがリストへの掲載候補となっています。

- 1) グリーン電力証書
- 2) 化石燃料から木質ペレットへの燃料代替
- 3) 太陽光パネルの設置
- 4) 森林管理

* カーボンオフセット

直接的な施策によって削減できないCO₂(カーボン)を、森林吸収量を守る植林やクリーンエネルギーなどの事業に投資することなどにより、排出した分を相殺(オフセット)する仕組みです。

2. さく葉標本の整理

6月1日(火)に森林資料館のさく葉標本の整理をおこないました。参加者は石松夫婦と石川夫婦の4名です。今回は晴天で天候もよいので、講義室で整理作業をしました。標本をとりだし、書いてある内容を読み取り、リストに書き込み、元に戻すという作業をすべて一人でやる方法では混乱するので、個々の仕事を分担して行うこととしました。

今回、初めて1日中通して行ったわけですが、半日で1箱、1日でも2箱しかできないことがわかりました。また、防虫剤のにおいがきつく、長時間続けて行うのは大変です。保管箱は120箱ありますので、このペースで作業すると60日かかる計算となり、何年もかかる作業と覚悟しました。

千葉演習林と県立中央博物館が協力して演習林全域（林道、歩道）のすべての維管束植物種の目視記録と代表的なものの標本採集という調査を2012年度をめどに完成したいという計画があります。その後、この資料とわれわれが整理している過去の標本を比較することになると思われるのでこの時期がこの作業の期限と考えられます。



6月度 ボランティア活動・報告

～利用者説明会・さく葉標本整理・自然観察～

1. 利用者説明会

6月15日（水）に行われ、恵、石松夫婦、石川（輝）の4名が参加しました。

5月に行われた春の研修会は千葉演習林の職員の研究・業務の発表会ですが、今回の利用者説明会は千葉演習林を研究の場として使われている方々全員の研究内容の発表の場です。千葉演習林をどのような方々が



どこでどのような研究をされているか全体を把握できる貴重な会です。発表者は東京大学の職員だけでなく、他の大学や研究部門の方々と多岐にわたり、内容も本来の森や植物以外に魚や昆虫、地質関係など豊富です。

当 Abies も研究とはいえませんが、千葉演習林の利用者であるので活動内容を発表しました。夜は懇親会があり、石川（輝）が参加して互いに情報交換をして有意義にすごしました。

2. さく葉標本整理、自然観察会

6月16日(水)に郷台作業所の苗畑の草取り作業を行う予定で恵、土橋、安元さんと石川(輝)の4名が清澄作業所に集合しました。しかし、当日は朝から雨降りで草取り作業は無理と判断して代わりにさく葉標本の整理をおこないました。

お昼頃から天気が急激に回復したので、昼食を食べてから、さく葉標本の整理作業をやめて急遽、自然観察を行うことにしました。職員の三次さんに車で麻綿原まで送ってもらい、ここから一杯水林道を清澄作業所まで観察しました。途中、菖蒲沢の菖蒲の状況も確認しました。

例年ですと、イワタバコの花を見ることができる時期ですが、今年はずぼみが少しある程度で開花が遅れています。ツルアリドオシやウメガサソウの小さな花を見ることができました。



ハナミョウガ



ウツギ



ウメガサソウ

7月度ボランティア活動・参加者募集

～ 高校生のための森と海のゼミナールサポート～

「高校生のための森と海のゼミナール」(主催:高校生のための森と海のゼミナール実行委員会)が、東大千葉演習林と千葉大学海洋バイオシステム研究センター(鴨川市小湊)において、高校生を対象に行われます。

また、心当たりの高校生がいたらご紹介ください。詳細内容は千葉演習林ホームページをご覧ください。



日 時 平成 **22** 年 **7** 月 **27** 日(火) ~ **29** 日(木)
(2泊3日、全参加)

集 合 7月27日 13時00分 清澄作業所

内 容 活動の補助、写真撮影など。

定 員 3名程度(内女性が1名以上いると望ましい)

宿泊場所 札幌学生宿舎(0439-39-3122)または
清澄学生宿舎(04-7094-1990)

費 用 全参加:4,500円程度
(補助が出る可能性もあります。)

持 ち 物 飲み物、筆記用具、野外活動ができる服装、地下足袋か布を巻いた長靴(ヤマビル対策として)、雨具、洗面用具、寝巻、リュック、懐中電灯、虫除けスプレー、ばんそうこう、健康保険証のコピー、常備薬、会員証など

受付期間 ~ **7** 月 **15** 日(火)

申込、お問い合わせ先

千葉演習林ボランティア会 Abies 事務局 石川 輝雄宛

=====

千葉演習林ボランティア会 Abies 通信

*事務局 〒264-0032 千葉県千葉市若葉区みつわ台 3-1-2-102

TEL/FAX: 043-251-1390

石川 輝雄

*東京大学千葉演習林 〒299-5503 千葉県鴨川市天津 770

TEL:04-7094-0621 FAX:04-7094-2321